第４学年　道徳科（人権）学習指導案

１　主　　題　　支え合い　共に生きる社会をめざして　Ⅱ
２　主題設定の理由（省略）
３　ねらい
　高齢者を取り巻く様々な問題について知るとともに，高齢者の方との交流を通して，みんなで支え合って共に生きていく地域社会をつくっていこうとする態度を育てる。
４　指導計画

本主題の中心となる人権学習

〔第一次〕道徳科
「よもぎ荘との交流」（ひかり）
【高齢者】１時間
　高齢者に対する尊厳や感謝の心を育て，これから高齢者とどのように接していけばよいかを考えさせる。

⇩

〔第二次〕総合的な学習の時間
「ボランティアでつながろう
～高齢者の方にできること～」
②「○○荘」の方と交流しよう
【高齢者】【共生】10時間
・「○○荘」での交流を通して，高齢者に対する尊敬や感謝の心をもつ。
・「○○荘」で高齢者に関わっている人たちに具体的な関わり方を学ぶことを通して，高齢者への正しく関わろうとする態度を育てる。

⇩

〔第三次〕道徳科　「心と心のあく手」
【共生】【高齢者】１時間（本時）
　高齢者の思いや願いを大切にし，そのうえで自分はどうすればよいかを考え，行動に移そうとする態度を育てる。

⇩

〔第四次〕道徳科　「たな田が変身」
【ふるさとを大切にする心】１時間
　郷土の一員としての自覚をもち，郷土を愛し守り育てようとする意欲を高める。

⇩

〔第五次〕総合的な学習の時間
「学習発表会で伝えよう」
【共生】【高齢者】１時間
　調べたことや交流したことを報告し，支え合う社会をつくろうという意欲を高める。

⇔

主題に関わる教科等・行事

○総合的な学習の時間
「ボランティアでつながろう
～高齢者の方にできること～」
①高齢者について知ろう
【高齢者】【共生】４時間
・高齢者に対するイメージを家族や友達から聞き取り，高齢者に対する偏見や固定概念があることに気付かせる。
・高齢化社会の現状について学び，高齢者に対する理解を深めさせる。

③自分たちにできるボランティアを考えよう。　【高齢者】【共生】10時間
・具体的なボランティア活動を実践し，高齢者の人権が大切にされる社会づくりを進めるために，自分も社会の一員として行動しようとする態度を育てる。

○道徳科　「悪いときめている」（ひかり）
【共生】１時間
　偏見にとらわれず，誰に対しても公正公平に接する態度を養う。

○国語科　「わたしの考えたこと」
【共生】１時間
　自分の考えを明確にし，考えた理由を伝えようとする意欲を高める。

○学級活動
「学習発表会の計画を立てよう」
【共生】【高齢者】１時間
　発表の内容について意見を出し合い，「○○荘」の方に招待状を作成し，招待する準備について考えさせる。

5　本時の学習

（1）目　標

相手の思いや願いを大切にし，そのうえで自分はどうすればよいかを考え，行動していこうとする意欲を高める。

ねらいとする道徳的価値	Ｂ－（６）　親切，思いやり

（2）普遍的な学習のテーマ　　共生

個別人権課題名　　高齢者

（3）展　開

学　習　活　動	指　導　上　の　留　意　点（評価）
1　「○○荘」を訪問したときのことを振り返り，本時の学習のめあてをつかむ。	○　入所者の方だけでなく，職員の方の様子も提示し，関わり方についても想起させ，本時の学習の方向付けをする。
2　「ぼく」が残念に思った理由を考える。	○　自分の行いが相手に受け入れられなかった気持ちに共感させるとともに，ぼくの行いが相手の気持ちに寄りそったものではなかったことに気付かせる。（発言）①
3　再度おばあさんに出会ったとき，「ぼく」はどう行動したのか話し合う。	○　「ぼく」のその後の行動から，相手の思いや願いを理解したうえで，行動することの大切さに気付かせる。（発言）①
4　「○○荘」の入所者の方を学習発表会に招待するときのめあてを考える。	○　高齢者の方とよりよく関わるには，どうすればよいかを考え，自分にできることをしていこうとする意欲を高める。（ノート・発言）②

（4）評　価

・　相手の思いや願いを大切にし，自分にできることを考え行動していこうとする意欲を高めることができたか。（価値的･態度的側面）①

・　地域の高齢者とよりよく関わるために，どうすればよいかを文章に表したり，発表したりできたか。（技能的側面）②